

鎌倉市生活環境整備審議会及び鎌倉市廃棄物減量化及び資源化推進審議会  
合同審議会 議事録（概要）

- 1 **開催日時** 平成 26 年 5 月 29 日（木）18 時から 18 時 45 分まで
- 2 **開催場所** 鎌倉市役所 本庁舎 全員協議会室
- 3 **出席者** **（生環審）** 横田会長、荒井副会長、河邊委員、大西委員、坂本委員  
**（減量審）** 深野会長、浅川委員、久保田委員、大道委員、橋詰委員、保坂委員、  
奴田委員、牧田委員
- 4 **事務局** 環境部 石井部長、小池次長、川村次長、植地次長  
資源循環課 内海担当課長、谷川担当課長、佐藤担当係長、奥貫担当係長、  
吉田担当係長、安倍副主査、松本職員、古賀職員  
環境施設課 遠藤課長、齋藤課長補佐  
環境センター 杉田担当課長、佐藤担当課長  
ごみ減量・資源化推進担当 谷田担当課長補佐

5 **傍聴者** 15 名（1 名途中参加）

6 **協議内容**

(1) 最適な資源化のあり方について

7 **配付資料**

(1) 資料 1-1 鎌倉市の最適な資源化のあり方について（答申案）

(2) 資料 1-2 ごみ処理量の将来予測

(3) 資料 1-3 最適な資源化のあり方に関する評価（総合評価）

(4) 資料 1-4 鎌倉市廃棄物減量化及び資源化推進審議会の審議経過について

鎌倉市生活環境整備審議会及び鎌倉市廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員名簿

8 **会議の概要**

主な内容は次のとおりです。

開会	小池次長
各委員より自己紹介	
合同審議会開催の経過について	小池次長
配布資料の確認	内海担当課長
傍聴者の確認	横田会長

(1) 最適な資源化のあり方について

**横田会長**

「最適な資源化のあり方について」の審議経過について、廃棄物減量化及び資源化推進審議会の深野会長よりご報告をお願いする。

## 深野会長

「最適な資源化のあり方について」の審議経過の報告及び資料の内容について説明を行った。

## 横田会長

大変緻密な分析がされている。他の市町村にとっても立派に参考となる資料である。

今後、廃棄物減量化及び資源化推進審議会は「最適な資源化のあり方について」を、本日の審議結果をまとめたうえで、市長に答申することになっている。その後、生活環境整備審議会はその答申を受けて、ごみ焼却施設基本計画に反映することになる。サーマルリサイクルとマテリアルリサイクルの比較は非常に迷う事柄であるが、かなりしっかりと仕分けがされ、各品目に渡って細かな分析がされていると思う。生活環境整備審議会の委員の方から質問等があったら願います。

## 大西委員

P7 のペットボトルのリサイクルについて、現行の指定法人に引き渡さずに特定事業者を選定し、物から物へとリサイクルする手法を今後も引き続き行っていくということか。モチベーション、動機はどういったものであったのか。

## 深野会長

水平リサイクルであるボトル to ボトルは、一番純粋なリサイクルで分かりやすく、分別協力量が高いということを優先した。しかしながら、現状のマテリアルリサイクルの手法はサーマルリサイクルより環境負荷や経費の面で負担が大きいため、手法等については収集運搬や技術革新等を踏まえて、もっと効率的な方法がないかを今後も検討する必要がある。ただし、基本的には、ボトル to ボトルが確実に可能となるような、鎌倉市の手法を推進していくべきではないかということである。

## 坂本委員

現在の国のリサイクルの仕組みというものもある。指定法人に売却するよりも独自ルートの方が高く売却できるということもあり、指定法人に出す市町村がだんだん減ってきて、仕組みそのものが崩壊しかけているという状況がある。また、色々なリサイクルの方法があるが、指定法人によるリサイクルは入札によって決まるため、どのリサイクル方法になるか分からない。鎌倉市はリサイクル方法が決定できることや売却額のことをもってマテリアルリサイクルに決めたのだと思う。

## 横田会長

このあたりは技術と経済性が絡むところで判断に多少迷うところである。より効率の良いマテリアルリサイクルの方法があれば、さらに検討していく必要がある。他に質問はありますか。

## 河邊委員

P12 の総括のところ、平成 27 年度以降は名越クリーンセンター 1 炉のみの稼働とあるが、現在名越クリーンセンターは 2 炉あり、そのうちの 1 炉しか動かさないのかという誤解を招くお

それがあるので、1施設と記載したほうが良いと思う。

#### **横田会長**

ただ今の表現方法は、この後の廃棄物減量化及び資源化推進審議会で修正するかどうかを検討していただく。本日の協議の内容を踏まえて、廃棄物減量化及び資源化推進審議会で最終的なとりまとめを行っていただきたい。

#### **深野会長**

ご指摘、ご意見ありがとうございました。お話いただいた内容を踏まえて、本日これから行う廃棄物減量化及び資源化推進審議会においてとりまとめをさせていただきたいと思う。

#### **横田会長**

それでは深野会長を始め、廃棄物減量化及び資源化推進審議会の委員の皆様には、とりまとめをよろしくお願ひしたい。今後、生活環境整備審議会では「最適な資源化のあり方について」報告を受けて、新焼却施設基本計画の検討を進めていきたいと考えている。審議の過程で、本日の内容を再確認させていただくことがあるかもしれないが、今後とも鎌倉市の安全で安定なごみ処理施設、ごみ処理施策に対して、両審議会で協力し合っていきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

それでは、本日予定されておりました合同審議会はこれで終了としたい。どうもありがとうございました。